

## 無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集 (①無06-14-4/5)

### 目 的

無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

### 成 果

1. 韓国との交流事業では、韓国国立無形遺産院から、調査研究記録課の李明珍学芸研究士を2014（平成26）年8月11日～9月9日の間、無形文化遺産部に迎え、研究交流を実施した。日本側からは、2014（平成26）年8月18日～30日の間、菊池理予研究員を派遣し、韓国における無形文化財（工芸技術）の保護制度について調査研究を行った。また、2015（平成27）年3月2日～14日には久保田裕道無形民俗文化財研究室長を派遣し、韓国における民俗芸能・風俗慣習についての調査研究を行った。
2. 無形文化遺産分野の国際的情報収集では、以下の国際会議等に参加し、情報収集及び研究発表等を実施した。

2014（平成26）年10月16日「韓・中・日無形遺産国際シンポジウム」韓国 ソウル・重要無形文化財伝授会館

2014（平成26）年11月23日～29日「無形文化遺産保護条約第9回政府間委員会」フランス パリ・ユネスコ本部

### 論文

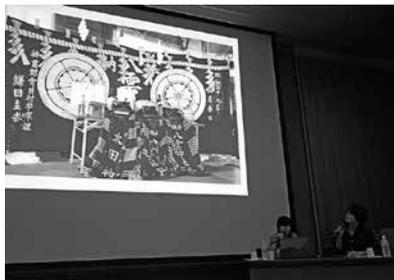
- ・二神葉子「無形文化遺産の保護に関する第9回政府間委員会における議論の概要と今後の課題」『無形文化遺産研究報告』第9号 pp.25-39 15.3

### 発表

- ・菊池理予「染織技術に関わる原材料と道具の現状」韓国国立無形遺産院 14.9.4
- ・久保田裕道「日本における風流芸能の伝承と保存」韓国文化財保護財団 14.10.16
- ・久保田裕道「日韓の正月儀礼を中心とした比較研究」韓国国立無形遺産院 15.3.13

### 研究組織

○飯島満、高桑いづみ、久保田裕道、菊池理予、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、二神葉子（企画情報部）



李明珍学芸研究士による東京文化財研究所での成果報告会（14.9.8）



韓国での調査（15.3.5）